

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2025年12月
結果公表日:2026年3月30日

回答率

事業所職員: 7名回答、回答率 87.5%
保護者様: 28名回答、回答率 100%

職員の意見

○環境・体制整備

・職員体制について職員の男女バランスがとれているため、同性介助による職員一人への負担の偏りが起きない体制となっている。

・環境面について、身体を動かす遊びや活動を行うスペースと、学習を行うスペースを区分けして過ごしやすい空間を作ることができている。どの身長でも手洗い時の洗面台の高さが適切になるよう、異なる高さの台を複数用意する工夫を行っている。壁紙がはがれてしまっている所がいくつかあるため、環境を整備する為に、壁紙の修理など教室内の整備は今後も検討していきたい。

○業務改善

・業務前のミーティングでは、情報共有や1日の予定の共有を行っている。必要事項については教室のチャットに記録して残している。送迎の都合で職員全員でミーティングが実施できないこともあるがチャットを活用し共有漏れがないようにしている。

・利用者の退室後に利用者の様子を共有する時間を作っている。対応方法など職員の意見を聞く場を作り、全員の意見を取り入れて支援の方向をそろえている。

○適切な支援の提供

・個別支援計画を作成する際は半年に1回必ず保護者と面談を実施した上で一人一人に合わせて作成し、支援を行っている。支援内容と利用者の様子は毎回サービス提供記録にて保護者に共有をしている。

・個別支援計画作成時は、全職員で内容を確認し様々な観点から支援方法の意見を出し、利用者に合う支援を提供することができる。

○関係機関や保護者との連携

・必要に応じて相談支援の時間を設けている。今年度は区役所や他事業所との連携も行うことができ、ご家庭の困り事に対して、包括的な支援を行うことができた。

・保護者や学校との連携については当日の下校時間変更などイレギュラー発生時の情報共有に課題が残るので連携方法を検討していく。

○保護者への説明責任等

・書面や口頭で当日の利用者の様子について共有を行っている。必要に応じて、電話やメールでの共有も行き丁寧な説明を行うことができている。

・療育参観や保護者会を実施し保護者に参加していただくことができた。スライドショーを作成し教室での様子を写真で紹介することができた。来年度は祝日の実施も検討しより多くの保護者が参加できるようにする。

○非常時等の対応

・てんかんやアレルギー、服薬状況などの基本情報を毎年確認している。教室内で対応方法について共有することで安全に利用できる環境を作っている。

・災害時や感染症対策などそれぞれマニュアルを策定し訓練を行うことで非常時の動きを確認している。教室研修の回数を増やし、全職員の非常時の対応を統一できるようにしていきたい。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・体制について、同性介助ができている点について、「大変ありがたく思っている」とご意見を頂いた。一方で、情報共有についてはご指摘をいただいた。職員間の情報共有については口頭だけでなく事務室内のホワイトボードやチャットを使用して全員が確認できるように徹底していく。
- ・環境について、約8割の方から利用者の活動に合わせた空間になっていると回答頂いた。一方で「ワンフロアのため、利用者がパニックになった時などのクールダウンの場所があるとよい」とのご意見も頂いた。今年度は仕切りやすぐに出せるテントを配置し使用することができたので保護者への周知も行う。

○適切な支援の提供

- ・放課後デイサービス計画作成に対し、「保護者の話も沢山聞いてくださり、助かります」「子供のことを考えて色々配慮してくださって、安心して過ごさせています。」と約9割の方から高評価を頂いた。活動については、「課外活動・調理・保護者参加のイベントがあるとよい」との意見も頂いたため、来年度、課外企画や調理活動を積極的に行う。
- ・保護者が参加できるイベントを実施したり、ブログを定期的に更新したりすることで保護者が支援の様子を知っていただく機会を増やしていきたい。

○保護者への説明等

- ・「困りごとがあったらすぐに対応してくださり、ありがたかったです。」と約8割の保護者から高い評価を頂いた。一方、「家族も参加できる研修会はしていない」「療育参観はやっていたが、回数は少ない」との意見もあったため療育参観や保護者会の機会を増やし要望に合わせた研修を検討する。

○非常時等の対応

- ・緊急時の対応については、7割以上の保護者から周知されているとの回答を頂いた。一方で「わからない」との回答もあったので、改めて文面や口頭で周知・説明を行い、すべての保護者に非常時の対応についてご理解いただけるよう対応を進めていきたい。

○満足度

- ・「季節のイベントは楽しみにしている」「学校ではできないことがスマートキッズではできるのでありがたい」「子供への理解があり、成長に共感してくれることがありがたく、なくてはならない場所」と8割以上のご家庭から事業所の支援に満足していると回答いただいた。一方、「連絡ミスで不安を感じてしまうことがある」とのご意見もいただいたため、スタッフ間での情報共有の仕方を徹底し、保護者により満足いただける教室運営になるように工夫していきたい。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・自主入退室のご家庭との情報共有の機会を増やしていくため、電話でのフィードバックやメールでのやりとりをする等、ご家庭の状況に応じた対応方法を検討していく。
- ・一度やり取りをしても、事業所と保護者で認識がずれることもあったので、変更点がある場合は前日に対応について確認する等、小まめに意思疎通ができるようにしていく。
- ・日頃の避難訓練の様子や緊急時の対応について、ブログ等でお伝えする機会がなかったため、発信する機会を設けていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・相談支援カレンダーを配布し、保護者と定期的に相談支援を行うことで、日々の利用者の様子を共有する事が出来た。
- ・療育参観と保護者会を年に複数回実施できた。今後も保護者が利用者の様子を実際に見たり、情報を共有することができる機会を増やしていく。
- ・保護者との情報共有についてはまだ課題が残るので口頭の文面の併用など認識のずれがないように進めていく。
- ・ブログを更新する頻度が低かったので更新頻度を決めて保護者により支援の様子を知ってもらえるようにしていく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・季節のイベントなど利用者が楽しめる企画を行っている。
- ・保護者や利用者から希望のあった活動を取り入れた企画を実施出来ている。
- ・保護者と連携をとりながら、安心して過ごせる居場所作りが出来ている。
- ・日々のフィードバックや面談で保護者からいただいたご相談に対して適切にアドバイスが出来ている。
- ・学校では難しい個別での利用者の要望や、利用者の特性に合わせた個別課題を提供できている。

○改善点

- ・ニュースレターで活動の様子をお伝えしていたが、ブログや直接お見せする保護者会や療育参観の実施の機会が少なく、日々の様子を十分にお伝えする事が難しかった。
- ・保護者とのやり取りは口頭の文面の併用に加え、直前にも再度確認することで認識のずれがないように進めていく。
- ・緊急時対応など、周知が十分に行き届いていない状態であったため、メール・口頭・書面など保護者に合わせて周知方法について検討し、改善を図る必要がある。
- ・職員間での情報共有について漏れないように口頭とチャットでの共有と業務前ミーティングで全員で確認をおこなう。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会や療育参観を定期的に行えるように企画する。また、参加できなかった保護者にも資料を共有し、より具体的な教室の動きを周知していく。
- ・ブログを定期的に更新し、日々の活動の様子を発信し、教室の取り組みを知っていただける機会を作る。
- ・情報共有時に認識のずれが内容にする。
- ・緊急時の対応を定期的に周知できるように周知方法を検討し、それぞれの保護者と緊急時連携がとれる体制づくりを行う。

○1年間で取り組む具体策

- ・保護者会や療育参観を前期後期各1回実施し、実際に教室での様子を見ていただける機会を増やす。保護者会への参加が難しいご家庭には資料を配布し、すべてのご家庭に周知できるようにしていく。
- ・月に1回ブログを更新し、教室の様子をより詳しく知っていただく機会を増やす。
- ・保護者との対応についてすべての職員が見れるように記録に残し、それぞれの家庭と円滑に情報交換が出来る様にする。
- ・緊急時対応や各種マニュアルについて、保護者会での説明、長期休み前の配布を行い保護者や利用者への周知を行なっていく。
- ・年度初めやご新規のご利用開始時に緊急時対応をまとめた資料を配布し、対応方法を保護者と一緒に確認する。

スマートキッズ